

Aモル#30

下地調整・補修用プレミックスモルタル
ユニレックス3-1kg現場混入タイプ
(部分補修用)

荷 姿



25kg紙袋

適用塗厚

1~10mm

標準施工面積

3.7m²/袋(5mm)

| | |
|--------------|---|
| 日本建築仕上材工業会登録 | |
| 登録番号 | 0412043 |
| 放散等級 区分表示 | F☆☆☆☆ |
| 問合せ先 | http://www.nsk-web.org/ |

水濡れ厳禁

無石綿

業務用

特 長

1. 砂やセメントを混合する手間が省けます。
2. 耐候性に優れ、付着力が安定しています。
3. 適切な骨材配合の為、作業性が良く省力化、工期の短縮に貢献します。
4. 必要に応じて少量でも混練できます。

製品仕様

| | |
|-------|------------------------------|
| 適用下地 | コンクリート、モルタル、PCパネル、ブロック、ALC板等 |
| 適用部位 | 内外装壁面、内外装床面、手摺天端、天井 |
| 適用化粧材 | クロス、塗料、吹付、仕上塗料、Pタイル等 |

※タイル下地には使用しないで下さい。

試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

二瀬窯業(株) 試験室

| 項目 [単位] | 試験結果 | 品質基準 | |
|--------------------------|-------------|--------------|---------------|
| 軟度変化 [%] | 3.3 | -20~20 | |
| 耐ひび割れ性 | ひび割れなし | ひび割れがない | |
| 耐衝撃性 | ひび割れ及び剥がれなし | ひび割れ及び剥がれがない | |
| 曲げ強さ [N/mm] | 6.7 | 3.0以上 | |
| 圧縮強さ [N/mm] | 22.4 | 5.0以上 | |
| 付着強さ [N/mm] | 標準養生 | 1.9 | 0.7以上 |
| | 低温養生 | 1.4 | 0.5以上 |
| 吸水量 [g] | 1.8 | 2.0以下 | |
| 透水量 [ml/h] | 0.5 | 1.0以下 | |
| 長さ変化 [%] | -0.14 | 0~-0.15 | |
| 仕上材が複数仕上塗材の場合の耐久性 [N/mm] | 外 観 | 割れ、膨れ及び剥がれなし | 割れ、膨れ及び剥がれがない |
| | 付着強さ | 1.5 | 0.7以上 |

試験方法: JIS A 6916²⁰¹⁴(CM-1)



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

関連資材



公共建築協会
建築材料等評価名簿掲載材料
吸水調整材(モルタル用)
ユニレックス3
[18kg/缶]
塗布型吸水調整材
(EVA系合成樹脂エマルジョン)

施工方法

1. 下地の確認

施工前には下地を良く点検し、不純物、油脂等の除去、清掃を励行して下さい。

下地との接着性を確保するため、カップリングや高圧洗浄により目荒しを行って下さい。

2. 吸水調整

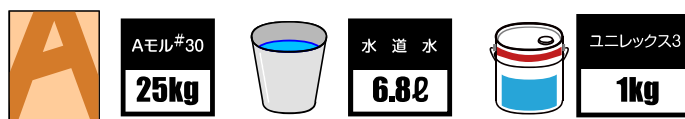
ユニレックス3(塗布型吸水調整材)の3倍希釈液にて左官刷毛、ローラー等を使用して吸水調整を行って下さい。

吸水の激しい下地(ALCパネル等)の場合は、ユニレックス3の5倍希釈液を2回塗布して吸水調整を行って下さい。

3. Aモル#30の混練

混練に際しては、Aモル#30(1袋:25kg)につき水を6.8ℓとユニレックス3を1kg加えてハンドミキサー等を使用してよく混練して下さい。

練り置きは40分以内とし、水を加えての練り返しは行わないで下さい。



4. Aモル#30の塗付け

金ゴテを使用し、下地にしごき塗りを行った後、追っかけにて所定の厚みに仕上げ下さい。

5. 養生

塗付け後、次工程までには7日以上養生期間をおいて下さい。

夏場の施工の際、Aモル#30施工翌日に散水養生を実施して下さい。

降雨(降雪)通風、日照など天候に留意し、必要ならシート養生等の保護養生を励行して下さい。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃して下さい。
2. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないで下さい。
3. 直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行って下さい。
4. Aモル#30の保管は、湿気・通風を避ける場所にして下さい。
5. 固まったものの使用は避けて下さい。
6. Aモル#30には練水の他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。
7. Aモル#30硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意して下さい。

⚠ Aモル#30を安全に正しくお使い頂く為、施工前には必ず容器の側面の仕様・注意事項をよくお読み下さい。



EMS
JIS Q 14001
ISO 14001
JSAE522



CM001

ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい

20190802.19

本社・工場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

関東工場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

本社営業グループ (建築・土木・仕上材) 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

大阪営業所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325

フレックスモルタルの総合開発メーカー

二瀬窯業株式会社

<http://www.futaseyogyo.co.jp/>